

令和 8 年度
全国学力・学習状況調査

解説資料

児童生徒一人一人の学力・学習状況に応じた
学習指導の改善・充実に向けて

小学校 国語



令和 8 年 4 月
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

目 次

令和8年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について	1
I 小学校国語科の調査問題作成に当たって	4
II 調査問題一覧表	7
III 調査問題の解説（出題の趣旨、解説、解答類型等）	9
① 休み時間の過ごし方について紹介する動画を作成する	10
② 夏を快適に過ごすための工夫について報告する文章を書く	20
③ 文章を読み、考えたことをまとめる	31
IV 解答用紙（正答（例））	42
V 点字問題（抜粋）	45
VI 拡大文字問題（抜粋）	52

令和8年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について

◆ 目的

本資料は、令和8年度全国学力・学習状況調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成したものです。

◆ 特徴

「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報を盛り込んでいます。

「教科に関する調査」の各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における内容、解答類型、正答や予想される解答の解説、学習指導の改善・充実を図るための情報等を記述しています。

全ての先生が、学習指導の改善・充実に活用できるものを目指して作成しています。

本調査は、小学校においては第5学年まで、中学校においては第2学年までに、十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容を出題していますので、調査の対象学年だけではなく、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考とすることができます。各問題の「学習指導要領における内容」には、該当する学年を示していますので、学校全体で組織的・継続的な取組を展開する際に活用できます。

調査実施後、すぐに活用できるように作成しています。

調査結果が出る前の段階から、調査問題を日々の学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成しています。

※調査結果を公表する際、調査結果から見られた課題の有無や誤答の分析、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を示した「報告書」を作成します。

一人一人のつまずきが見えるように「解答類型」を設けています。

本調査では、児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理した「解答類型」を設けています。

「解答類型について」で、つまずきの分析ができるように解答類型の説明をしています。正誤だけではなく、一人一人の解答の状況（どこでつまずいているのか）等に注目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。

関連する過去の資料も活用できるように作成しています。

関連する過去の調査の解説資料や報告書等の該当ページも記載しています。

学習指導の改善・充実を図る際は、これらの資料も併せて活用すると一層効果的です。

※過去の解説資料・報告書等は、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。

(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>)

◆ 本資料の活用に当たって

I 調査問題作成に当たって

調査問題作成の基本理念、調査問題作成の枠組みについて解説しています。

II 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、関係する学習指導要領の内容、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめています。

Ⅲ 調査問題の解説

調査問題について、出題の趣旨、解説（学習指導要領における内容、解答類型）等を記述しています。（問題によっては、記述のない項目もあります。）

調査問題を縮小して掲載しています。
※著作権の都合により一部を省略しているものもあります。

※図はイメージです。

1. 出題の趣旨

問題ごとに出題の意図、把握しようとする力、場面設定、本問における学習活動のポイントなどについて記述しています。

2. 解説

趣旨

問題ごとの出題の意図、把握しようとする力などを示しています。

■学習指導要領における内容

調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるように、関係する学習指導要領における内容を示しています。

■評価の観点

問題に関する評価の観点を示しています。

解答類型（下欄の*を参照）

児童生徒一人一人の解答状況を把握することができるように、問題における解答類型を示しています。

教科名

問題画像

1. 出題の趣旨

.....
.....

2. 解説

設問

趣旨

.....
.....

■学習指導要領における内容

〔第〇学年〕

.....

■評価の観点

.....

解答類型

問題番号	解答類型	正答
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 1.	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 2.	
	<input type="checkbox"/> 3.	
	<input type="checkbox"/> 4.	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

* 児童生徒一人一人の解答状況を把握するために

＜解答類型＞ 児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理したものです。解答例を示すとともに、「解答類型について」の解説を加えていますので、児童生徒一人一人の解答の状況（どこでつまづいているのか）等に着目した学習指導の改善・充実を図る際に活用することができます。

＜正 答＞ 「◎」…解答として求める条件を全て満たしている正答
「○」…問題の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

＜類型番号＞ 類型 1～38（最大）… 正答・予想される解答
（複数の類型が正答となる問題もある）
類型 99 … 「上記以外の解答」
（類型 1～38 までに含まれない解答）
類型 0 … 「無解答」（解答の記入のないもの）

※図はイメージです。

■解答類型について

○【解答類型1】は、.....
.....。

○【解答類型2】は、.....
.....。

○【解答類型3】は、.....
.....。

○【解答類型4】は、.....
.....。

(参考)

○同一の問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H□A□□%	pp□-□	pp□-□
H□A□□%	pp□-□	pp□-□

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H□B□□%	pp□-□	pp□-□
R□□□%	pp□-□	pp□-□

3. 出典等
.....
.....

■解答類型について

予想される解答から、身に付いている力や考えられるつまずき等を記述しています。

(参考)

過去の関連する問題、解説資料、報告書等を記載しています。

※平成 24 年度から令和 2 年度の調査問題は、学習指導要領（平成 20 年告示）の目標及び内容に基づき作成されています。

3. 出典等

著作物からの出題の場合に、出典及び著作権者等について示しています。また、問題作成に当たって参考としたものについても示しています。

IV 解答用紙（正答（例））

調査問題の解答用紙に正答（例）を記述したものを掲載しています。

V 点字問題（抜粋）

点字問題の一部を、当該問題の解答類型及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

VI 拡大文字問題（抜粋）

拡大文字問題の一部を、当該問題の通常問題及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

※本資料では、以下の資料については略称を用いています。

資料	略称
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 報告書 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】報告書」
「令和○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「令和○年度【○学校】解説資料」
「令和○年度 全国学力・学習状況調査 報告書 ○学校 ○○」	「令和○年度【○学校】報告書」

I 小学校国語科の調査問題作成に当たって

小学校国語科の調査問題作成に当たって

1 調査問題作成の基本理念について

全国学力・学習状況調査（悉皆調査）は、地方自治体や学校に対して、学習指導要領の理念や目標、内容等を具体的に示し、児童生徒の学習指導の改善や地方の教育施策の検証に資することを目的としている。

平成29年3月に公示された小学校学習指導要領（平成29年告示。以下「学習指導要領」という。）は、教科等の目標や内容について、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」という三つの柱に基づいて再整理されており、これらの資質・能力の三つの柱は相互に関係し合いながら育成されるものという考え方に立っている。

こうした学習指導要領の考え方への各教育委員会や各学校の理解を促す観点も含め、全国的な学力調査に関する専門家会議において、平成31年度以降の調査問題作成の考え方を取りまとめた。この考え方に基づき、各設問の正答率や誤答の状況から課題の有無を把握し、学習指導の改善・充実を図ることができるよう、問題作成に当たって、特に以下の事項に配慮することとしている。

- ① 学習指導要領の理念、目標・内容等に基づくものとし、小学校の調査問題については小学校第5学年までに、中学校の調査問題については中学校第2学年までに十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられるものを、各領域等からバランスよく出題すること。
- ② 調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導方法の改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上等に役立てるという視点から、学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を具体的に示すメッセージとなる問題を出題すること。
- ③ 「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」は、相互に関連し合いながら育成されるものという学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法の改善等に資するよう、知識と活用を一体的に問うこと。なお、調査問題の構成（問題数、分野・領域、出題形式等）については、教科の特性に応じて柔軟に設計するものとする。
- ④ 児童生徒が全ての問題に十分に取り組むことができるよう、問題の分量が調査時間（解答時間）に照らして適切なものとなるよう努めること。また、児童生徒の調査の負担に配慮すること。
- ⑤ 過去の調査で見られた課題を踏まえた問題も出題すること。

なお、本調査の調査問題は、国際的な学力調査の考え方や調査結果及び課題等も考慮した。

2 調査問題作成の枠組み

（1）学習指導要領の内容と評価の観点について

学習指導要領に示されている以下の内容に基づいて、その全体を視野に入れながら、中心的に取り上げるものを精選した。なお、小学校第5学年までの内容となるようにしている。

〔知識及び技能〕

- (1)言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2)情報の扱い方に関する事項
- (3)我が国の言語文化に関する事項

〔思考力、判断力、表現力等〕

- A話すこと・聞くこと
- B書くこと
- C読むこと

※ 「A話すこと・聞くこと」については、児童が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難しいため、場面設定・状況設定などを工夫して、話す・聞く活動にできるだけ近づけた出題となるようにした。

また、評価の観点として、「知識・技能」、「思考・判断・表現」に関わるものを出題した。

(2) 問題形式について

問題の形式は、選択式、短答式、記述式の3種類としている。記述式の問題では、複数の考え方、答え方があるものなどについて出題している。

◆ 点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題の作成について

本調査では、視覚障害等のある児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒等に配慮した調査問題（点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題）を作成している。

点字問題では、全体を点訳するとともに、点字による図版等の認知に伴う負担等を考慮し、図版等の情報の精査（グラフを表にしたり、記述による説明に替えたりするなど）を行ったり、出題の趣旨を踏まえた上で、出題形式の変更や代替問題の作成を行ったりするなどの配慮を行っている。

拡大文字問題では、対象となる児童生徒の見え方やそれに伴う負担等を考慮し、文字や図版等を拡大するとともに、文字のフォントや図版等の線の太さ・濃さ、コントラスト、レイアウト等を変更するなどの配慮を行っている。

II 調查問題一覽表

調査問題一覧表【小学校国語】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主 体的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
			(1)	(2)	(3)	A	B	C							
			関 言 葉 の 特 徴 や 使 い 方 に 関 する 事 項	関 情 報 の 扱 い 方 に 関 する 事 項	関 我 が す 国 の 言 語 事 文 化 に 関 する 事 項	話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と							
1	一 【構成メモ】の工夫として適切なものを選択する	相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる				3・4イ				○		○			
	二 (1) 【動画の一部】の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				5・6ウ				○		○			
	二 (2) 【動画の一部】の <input type="text"/> の部分の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				5・6ウ				○		○			
	二 (3) 〈音声〉の下線部の工夫の効果として適切なものを選択する	比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる	5・6ク							○		○			
2	一 花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる				5・6イ				○		○			
	二 【花山さんの文章の一部】の下線部①に続く文として適切なものを選択する	考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる		3・4ア						○		○			
	三 ア 【花山さんの文章の一部】の下線部アを、漢字を使って書き直す（みじかい）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ							○			○		
	三 イ 【花山さんの文章の一部】の下線部イを、漢字を使って書き直す（ふしぎ）		5・6エ							○			○		
	四 【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				5・6エ				○				○	
3	一 【文章】の特徴として適切なものを選択する	話や文章の種類とその特徴について理解することができるかどうかをみる	5・6カ							○		○			
	二 傍線部①、②、③について【林さんのメモ】にどのように整理したのかを説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		5・6イ						○		○			
	三 (1) 【話し合いの様子の一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	目的に応じて、必要な情報を見付けることができるかどうかをみる				5・6ウ				○		○			
	三 (2) 【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				5・6オ				○				○	

Ⅲ 調査問題の解説

(出題の趣旨、解説、解答類型等)

国語 1 休み時間の過ごし方について紹介する動画を作成する

【構成メモ】

時間	えい像のイメージ	伝えたいこと
はじめ 10秒		○話題の提示 ・草花遊び
中① 1分		○遊び方 音を鳴らして遊ぼう ・くき笛 (たんぼぼ)
中② 1分		○おもしろさ 友達といっしょに鳴らして、音が重なるのが楽しい。
中③ 1分		対決して遊ぼう ・草ずもう (おおぼこ) 友達と対決して、勝ったり負けたりするのがおもしろい。
終わり 20秒		○まとめ ・友達といっしょに草花遊びを楽しんでほしい。

- 1 草花遊びの遊び方とおもしろさを取り上げて、遊ぶときの注意点を説明しようとしている。
- 2 友達と遊ぶときと一人で遊ぶときのおもしろさを比べて、ちがいを明らかにして説明しようとしている。
- 3 友達と遊ぶときの遊び方を複数取り上げて、おもしろさと合わせて説明しようとしている。
- 4 草花遊びと他の遊びを比べて、それぞれのおもしろさを説明しようとしている。

【岡野さんたちの考え】

草花遊びは一人でできるものもあるけれど、みんなで遊べるものもいろいろあると思う。みんなが遊べるものもいろいろあると思う。みんなが遊べるものもいろいろあると思う。



岡野さんの学級では、学校生活をより楽しくするために、休み時間の過ごし方を動画にして学校のみんなに紹介しようかという話がありました。岡野さんたちのグループは、草花遊びをしようかという話で決まりました。次の【岡野さんたちの考え】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

一 岡野さんたちのグループは、「岡野さんたちの考え」をもとに、動画の【構成メモ】をくふうして作りました。そのくふうとして最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 草花で遊ぶ場所への行き方を映像で示すことで、草花遊びへの関心を高めている。
 - 2 くき笛の実際の音を示すことで、言葉の説明だけでは分かりにくい内容が伝わるようにしている。
 - 3 くき笛を作る映像に文字の説明を加えて示すことで、遊び方の手順が伝わるようにしている。
 - 4 くき笛の長さを映像で比べて示すことで、くき笛にしやすいたんぼぼを見分けやすくしている。
 - 5 手元や口元を大きく映して映像で示すことで、くき笛の遊び方が伝わるようにしている。
- (2) 岡野さんたちのグループは、「動画の一部」の 2 の部分をくふうしました。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 映像で示したくき笛の作り方が伝わるように、大事な言葉くり返し使って説明している。
 - 2 映像で示したくき笛の鳴らし方を伝えるために、草花の一部を具体的に取り上げて説明している。
 - 3 映像で示したくき笛の作り方が伝わるように、注目してほしいところを動作に合わせて説明している。
 - 4 映像で示したくき笛の鳴らし方を伝えるために、鳴らし方のコツを手順に沿って説明している。

【動画の一部】

映像	音声
	岡野・水谷「音を鳴らして遊ぼう。」
	岡野「みなさん、この音を聞いてください。」 『ピー』(くき笛の音) 岡野「これは何の音だと思いますか。」
	水谷「これはたんぼぼで作ったくき笛の音です。」 岡野「どうしたらこんな音が出るんですか。」
	水谷「くき笛は、たんぼぼの花の部分を取りのぞいて」
	水谷「片方のくきの先をつぶして作ります。」
	水谷「つぶした方をくちびるでくわえ、風船をふくらませるように息を吹きこむと」 『ピー』(くき笛の音) 水谷「このように音を出すことができます。」
	水谷「くきの長さが変わると、音の高さも変わります。いっしょにふいてみましょう。」 『ピー』(くき笛の音)『ボー』(くき笛の音)
	岡野「友達といっしょに音を鳴らすと音が重なって、とても楽しいですね。」

二 岡野さんたちのグループは、「構成メモ」をもとに、「中①」を次の【動画の一部】のようにくふうしました。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

(3) 岡野さんたちのグループは、「**動画の一部**」の中で、「**映像**」だけでは伝わりにくいことを伝えるために、「**音声**」の——部をくふうしました。そのくふうの効果として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 息をふきこむときのきんちよう感を伝える効果
- 2 息をふきこむときの音を伝える効果
- 3 息をふきこむときのくきの持ち方を伝える効果
- 4 息をふきこむときの息の強さを伝える効果

1. 出題の趣旨

相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えるとともに、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

話の内容を分かりやすく伝えるためには、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げ、筋道を立てた構成にするとともに、資料を活用するなどして表現を工夫することが重要である。話の構成を考える際には、伝えたいことがよく伝わるよう、相手のことを踏まえて理由や事例を選んだり、最初に提示した内容と結論とがずれないようにしたりすることが大切である。資料を活用するなどして表現を工夫する際には、聞き手の興味・関心や情報量などを予想し、補足説明が必要な箇所や言葉だけでは伝わりにくい内容について、どのような資料を用意すればよいかを考えたり、資料を提示しながら話す仕方について検討したりすることが大切である。

本問では、学校生活をより楽しくするために、休み時間の過ごし方を動画にして学校の人に紹介する場面を設定した。岡野さんたちのグループは、休み時間をより楽しく過ごすために、みんなで遊べる草花遊びを紹介し、その面白さを伝えたいと考え、動画の構成を工夫して撮影している。ここでは、伝えたいことがよく伝わるよう、最初に提示した話題に合った事例を複数取り上げて説明するなど、話の構成を考えることが求められる。また、話の内容を分かりやすく伝えるために、どのように説明を補足したり、伝えたいことを強調したりすればよいかを考えることや、資料の注目してほしいところを提示しながら話す仕方について検討することが求められる。その際、比喻などの表現を工夫すると、伝わりにくい内容を伝えることができると気付くことも求められる。

本問の設問構成等については、**□本問の設問構成と学習活動のポイント**に示す。

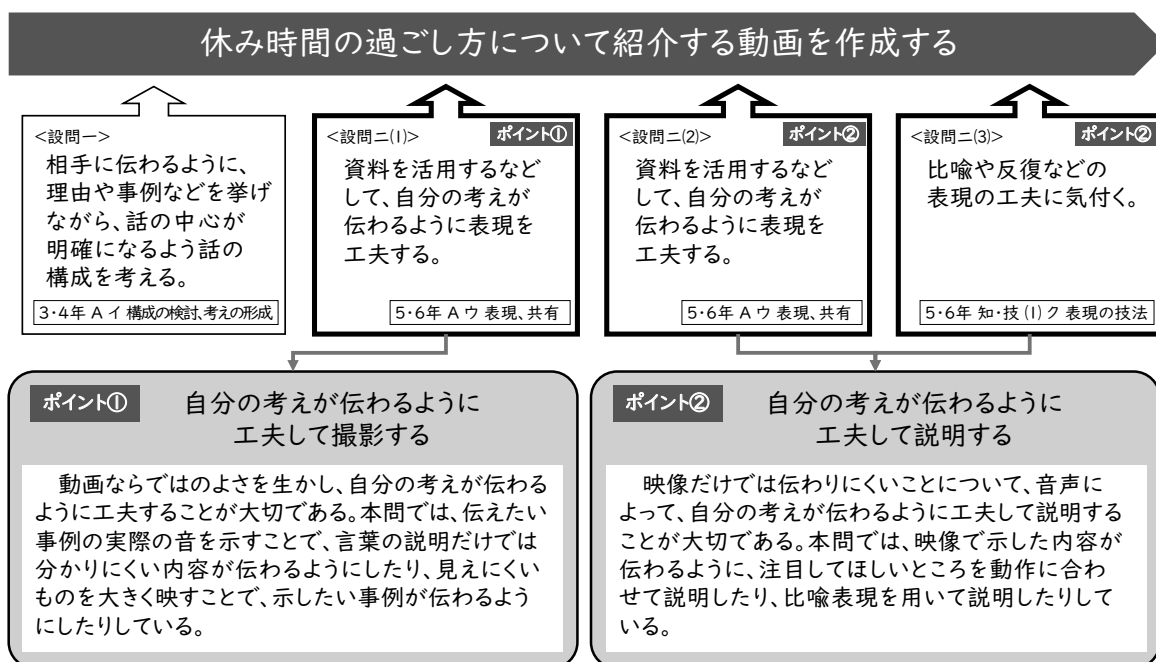
なお、過去の調査結果で見られた課題と関連する設問は、以下のとおりである。

- 設問二(1)及び設問二(2)は、令和6年度【小学校】国語¹二(2)（正答率53.1%）において、「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。
- 設問二(3)では、第5学年及び第6学年の〔知識及び技能〕の(1)言葉の特徴や使い方に関する事項の「表現の技法」に関する指導事項を取り上げている。この指導事項を本調査で取り上げることは初めてである。

□本問の設問構成と学習活動のポイント

本問では、「休み時間の過ごし方について紹介する動画を作成する」という言語活動の中で、4つの設問を設定し、それぞれの学習場面で求められる指導事項が定着しているかどうかをみている。

特に、設問二(1)の学習場面では、自分の考えが伝わるように工夫して撮影することが大切である。また、設問二(2)、設問二(3)の学習場面では、自分の考えが伝わるように工夫して説明することが大切である。



■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

[第5学年及び第6学年] 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと
ア 意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。

2. 解説

設問一

趣旨

相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第3学年及び第4学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
①	—	1 1 と解答しているもの	
		2 2 と解答しているもの	
		3 3 と解答しているもの	◎
		4 4 と解答しているもの	
		99 上記以外の解答	
		0 無解答	

■解答類型について

- 自分の伝えたいことが相手に伝わるように話の構成を考えるためには、具体的な相手や目的を意識して、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げ、筋道を立てた構成にすることが重要である。岡野さんたちは、【岡野さんたちの考え】を基に、動画の【構成メモ】を工夫して作っている。ここでは、岡野さんたちのグループが、草花遊びの面白さを伝えるために、友達と遊ぶときの遊び方を複数取り上げて、面白さと合わせて説明しようとしていると捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、岡野さんたちが、草花遊びの遊び方と面白さを取り上げていると捉えることはできているが、遊ぶときの注意点を説明しようとしていると捉えており、面白さと合わせて説明しようとしていると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型2】は、岡野さんたちが、友達と遊ぶときと一人で遊ぶときの面白さを比べて、違いを明らかにして説明しようとしていると捉えており、友達と遊ぶときの遊び方を複数取り上げて、面白さと合わせて説明しようとしていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、岡野さんたちが、友達と遊ぶときの遊び方を複数取り上げて、面白さと合わせて説明しようとしていると捉えることができていると考えられる。

- 【解答類型4】は、岡野さんたちが、それぞれの面白さを説明しようとしていると捉えることはできているが、草花遊びと他の遊びを比べていると捉えており、友達と遊ぶときの遊び方を複数取り上げていると捉えることができていないと考えられる。

設問二(1)

趣旨

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
①	二 (1)	1	2・5と解答しているもの（順不同）	◎
		2	2と解答しているが、5と解答していないもの	
		3	5と解答しているが、2と解答していないもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 自分の考えが伝わるように表現を工夫するためには、音声言語だけでは聞き手が理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合などに、資料を使いながら話すことが重要である。岡野さんたちは、【構成メモ】を基に、「中①」を【動画の一部】のように撮影している。ここでは、岡野さんたちのグループが、茎笛の実際の音を示すことで、言葉の説明だけでは分かりにくい内容が伝わるようにしていることと、手元や口元を大きく映して映像で示すことで、茎笛の遊び方が伝わるようにしていることを捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、岡野さんたちが、資料を用いる際に、茎笛の実際の音を示すことで、言葉の説明だけでは分かりにくい内容が伝わるようにしていることと、手元や口元を大きく映して映像で示すことで、茎笛の遊び方が伝わるようにしていることを捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型2】は、岡野さんたちが、資料を用いる際に、茎笛の実際の音を示すことで、言葉の説明だけでは分かりにくい内容が伝わるようにしていることを捉えることはできているが、手元や口元を大きく映して映像で示すことで、茎笛の遊び方が伝わるようにしていることを捉えることができていないと考えられる。

- 【解答類型3】は、岡野さんたちが、資料を用いる際に、手元や口元を大きく映して映像で示すことで、茎笛の遊び方が伝わるようにしていることを捉えることはできているが、茎笛の実際の音を示すことで、言葉の説明だけでは分かりにくい内容が伝わるようにしていることを捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R3 1二	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として適切なものを選択する	75.0%	pp. 12-17	pp. 21-28
R3 1三	津田梅子についての【スピーチ】の練習の点線囲みの部分で話す内容として適切なものを選択する	81.1%	pp. 12-17	pp. 21-28
R6 1二 (2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	53.1%	pp. 10-16	pp. 19-33

設問二(2)

趣旨

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

[第5学年及び第6学年] 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと
ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解答類型	正答
1 二 (2)	1	◎
	2	
	3	
	4	
	99	
	0	

■解答類型について

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫するためには、目的や意図に応じて、資料を提示しながら話す仕方について検討することが重要である。岡野さんたちは、【構成メモ】を基に、「中①」を【動画の一部】のように撮影している。ここでは、岡野さんたちのグループが、映像で示した茎笛の作り方が伝わるように、注目してほしいところを動作に合わせて説明していると捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、岡野さんたちが、映像で示した茎笛の作り方が伝わるようにしていると捉えることはできているが、大事な言葉を繰り返し使って説明していると捉えており、注目してほしいところを動作に合わせて説明していると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、岡野さんたちが、草花の一部を具体的に取り上げて説明していると捉えることはできているが、映像で示した茎笛の鳴らし方が伝わるようにしていると捉えており、映像で示した茎笛の作り方が伝わるようにしていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、岡野さんたちが、映像で示した茎笛の作り方が伝わるように、注目してほしいところを動作に合わせて説明していると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型4】は、岡野さんたちが、映像で示した茎笛の鳴らし方を伝えるために、鳴らし方のコツを手順に沿って説明していると捉えており、映像で示した茎笛の作り方が伝わるように、注目してほしいところを動作に合わせて説明していると捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R3 1二	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として適切なものを選択する	75.0%	pp. 12-17	pp. 21-28
R3 1三	津田梅子についての【スピーチ】の練習の点線囲みの部分で話す内容として適切なものを選択する	81.1%	pp. 12-17	pp. 21-28
R6 1二 (2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	53.1%	pp. 10-16	pp. 19-33

設問二(3)

趣旨

比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

ク 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
①	二 (3)	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 自分の考えが伝わるように表現を工夫する際、比喩や反復などの表現の工夫に気付くためには、児童がこれまでに話したり聞いたりする中で触れてきた、比喩や反復、倒置などの表現の工夫への気付きをまとめて整理することが重要である。岡野さんたちは、【動画の一部】の中で、〈映像〉だけでは伝わりにくいことを伝えるために、〈音声〉の一部を工夫している。ここでは、岡野さんたちのグループの「風船をふくらませるように」という比喩表現の工夫には、息を吹き込むときの息の強さを伝える効果があると捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、岡野さんたちの表現の工夫には、息を吹き込むときの緊張感を伝える効果があると捉えており、息の強さを伝える効果があると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、岡野さんたちの表現の工夫には、息を吹き込むときの音を伝える効果があると捉えており、息の強さを伝える効果があると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、岡野さんたちの表現の工夫には、息を吹き込むときの茎の持ち方を伝える効果があると捉えており、息の強さを伝える効果があると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、岡野さんたちの表現の工夫には、息を吹き込むときの息の強さを伝える効果があると捉えることができていないと考えられる。

3. 出典等

山田卓三 監修 奥山英治 絵 こどもくらぶ 編『五感をみがくあそびシリーズ ①野原であそぼう』(2011年1月 社団法人農山漁村文化協会)、小林正明 著 小林茉由 絵『草花遊び図鑑』(2008年7月 全国農村教育協会)、井上大成 文 中田彩郁 絵『月刊・科学絵本「かがくのとも」通巻661号「くさぶえあそび」』(2024年4月 福音館書店)などを参考にした。

国語 2 夏を快適に過ごすための工夫について報告する文章を書く

2

花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことになりました。花山さんは「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いていきます。次の「花山さんの文章の一部」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1 はじめに

夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないかなぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか

「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しや日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

「熱中しょうかん境保健マニュアル2022」には、「暑さをさげる衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらしか」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。

では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

〈図〉



一 「花山さんの文章の一部」まで書き進めた花山さんは、読み手もいっしょに考えて読むことができる文章になっているかどうかを確かめています。花山さんの文章のくふうを説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 調査の目的や手順、調査結果を順序立てて書いている。
- 2 結論を最初に述べ、それを支える事例を複数取り上げて書いている。
- 3 疑問と調べて分かったこと、次の疑問をくり返して書いている。
- 4 複数の事例の長所と短所を比べて書いている。

二

花山さんは、「花山さんの文章の一部」の——部①で述べた「くふう」を具体的に説明したいと考え、文を書き加えることにしました。——部①に続く文として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 例えば、長そでのシャツをはおるなどのくふうが考えられる。
- 2 例えば、そでのないシャツを着るなどのくふうが考えられる。
- 3 例えば、えり元を開けて着るなどのくふうが考えられる。
- 4 例えば、日かげを選んで歩くなどのくふうが考えられる。

三 花山さんは、「花山さんの文章の一部」を読み返し、習っている漢字がひらがなになってしましよう。部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の——部ア、イを漢字でいねいに書きましよう。

暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないかな。

なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

1. 出題の趣旨

筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えるとともに、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

自分の考えが伝わるように文章を書くためには、筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考えるとともに、引用するなどして、書き表し方を工夫することが重要である。文章全体の構成や展開を考える際には、伝えたいことを明確にした上で、首尾一貫した展開となるよう、つながりや配列を意識して文章全体の筋道を整えるなど、論の進め方に注意することが大切である。また、引用して書き表す際には、引用する目的を明確にした上で、本や文章などから必要な語句や文を正確に抜き出して書くとともに、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にすることが大切である。

本問では、夏を快適に過ごすための工夫について調べて考えたことを書き、友達と報告し合う場面を設定した。花山さんは、普段の生活の中で疑問に思ったことを基に、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章の組み立てを考えたり、資料の一部を引用したりしながら文章を書いている。ここでは、読み手が書き手の思考をたどりながら読み進められるように文章の展開を工夫することが求められる。また、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが求められる。さらに、考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することや、読み手の読みやすさや意味の通りやすさを考えて漢字を正しく書くことも求められる。

本問の設問構成等については、**□本問の設問構成と学習活動のポイント**に示す。

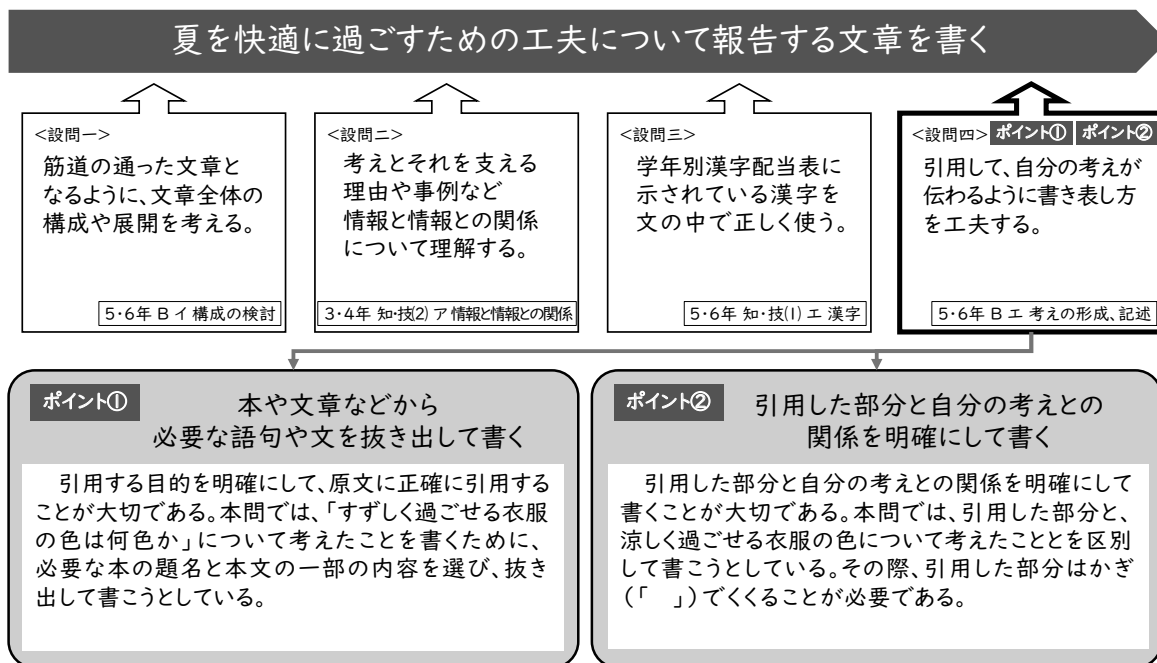
なお、過去の調査結果で見られた課題と関連する設問は、以下のとおりである。

- 設問二は、令和5年度【小学校】国語1—（正答率64.8%）において、「原因と結果など情報と情報との関係について理解すること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

□本問の設問構成と学習活動のポイント

本問では、「夏を快適に過ごすための工夫について報告する文章を書く」という言語活動の中で、4つの設問を設定し、それぞれの学習場面で求められる指導事項が定着しているかどうかをみている。

特に、設問四の学習場面では、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して書くことが大切である。また、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして書くことも大切である。



■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

ア 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。

2. 解説

設問一

趣旨

筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと
イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
②	一	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えるためには、それぞれの段落の内容としてどのようなことを書けばよいのかを考え、読み手が理解しやすいように書き方を工夫することが重要である。花山さんは、読み手も一緒に考えて読むことができる文章にするために、「疑問と解決」のつながりや配列を意識して文章全体の筋道を整えようとしている。ここでは、花山さんが、疑問と調べて分かったこと、次の疑問を繰り返して書いていると捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、花山さんが、調査の目的や手順、調査結果を順序立てて書いていると捉えており、疑問と調べて分かったこと、次の疑問を繰り返して書いていると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型2】は、花山さんが、結論を最初に述べ、それを支える事例を複数取り上げて書いていると捉えており、疑問と調べて分かったこと、次の疑問を繰り返して書いていると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型3】は、花山さんが、疑問と調べて分かったこと、次の疑問を繰り返して書いていると捉えることができていると考えられる。

- 【解答類型4】は、花山さんが、複数の事例の長所と短所を比べて書いていると捉えており、疑問と調べて分かったこと、次の疑問を繰り返して書いていると捉えることができていると考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R3 3一	丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する	64.9%	pp.30-40	pp.42-53

設問二

趣旨

考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第3学年及び第4学年〕 知識及び技能

(2) 情報の扱い方に関する事項

ア 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解答類型			正答
2	二	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解するためには、考えがどのような理由や事例によって支えられているのかを吟味することが重要である。花山さんは、【花山さんの文章の一部】の —— 部①で述べた「くふう」を具体的に説明したいと考え、その事例となる文を書き加えようとしている。ここでは、花山さんが事例として書き加える文は、「例えば、長そでのシャツをはおるなどのくふうが考えられる。」が適切であると捉えることが求められる。

- 【解答類型1】は、花山さんが書き加えた文が、「例えば、長そでのシャツをはおるなどのくふうが考えられる。」であると捉えることができていると考えられる。

- 【解答類型2】は、花山さんが書き加えた文が、「例えば、そでのないシャツを着るなどのくふうが考えられる。」であると捉えており、「例えば、長そでのシャツをはおるなどのくふうが考えられる。」であると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、花山さんが書き加えた文が、「例えば、えり元を開けて着るなどのくふうが考えられる。」であると捉えており、「例えば、長そでのシャツをはおるなどのくふうが考えられる。」であると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、花山さんが書き加えた文が、「例えば、日かげを選んで歩くなどのくふうが考えられる。」であると捉えており、「例えば、長そでのシャツをはおるなどのくふうが考えられる。」であると捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R5 1-	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	64.8%	pp.10-20	pp.19-35

設問三

趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

エ 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
②	三 ア	1	「短(い)」と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	三 イ	1	「不思議」と解答しているもの	◎
		2	「不」、「思」と解答しているが、「議」と解答していないもの	
		3	「不」、「議」と解答しているが、「思」と解答していないもの	
		4	「思」、「議」と解答しているが、「不」と解答していないもの	
		5	「不」と解答しているが、「思」、「議」と解答していないもの	
		6	「思」と解答しているが、「不」、「議」と解答していないもの	
		7	「議」と解答しているが、「不」、「思」と解答していないもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

ア 【解答類型1】は、「みじか(い)」を文の中で正しく書くことができている。

イ 【解答類型1】は、「ふしぎ」を文の中で正しく書くことができている。

【解答類型2～7】は、「ふしぎ」の一部の漢字を正しく書くことはできているが、全ての漢字を正しく書くことができている。

設問四

趣旨

引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解答類型	正答
②	<p>四 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 【集めた情報】の中から、以下のことを抜き出して書いている。</p> <p>a 本の題名 b 本文の一部の内容</p> <p>② 抜き出した部分をかぎ(「 」)でくくっている。</p> <p>③ 涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書いている。</p> <p>④ 140字以内で書いている。</p> <p>~~~~~</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「生活と太陽」という本には、「白は熱や光を反しやする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。」と書かれている。特に強い日差しが照りつけるえん天下では、黒い服より白い服を着る方が、すずしく過ごすことができそうだ。(123字) ・ 青は青でも、うすい青を選んで着るとよさそうだ。なぜなら、「夏のくらし方」には、「白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。」と書かれているからである。(111字) ・ 「夏のくらし方」という本には、「白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。」と書かれている。さらに、「生活と太陽」という本には、「白は熱や光を反しやする色のため、熱くなりにくい。」と書かれている。これらのことから、白を選ぶと、着ている人も周りの人もすずしく過ごせそうだ。(138字) 	
1	条件①a、bの両方、②、③、④を満たしているもの	◎
2	条件①a、bの両方、③、④を満たしているが、条件②は満たしていないもの	○
3	条件①a、bの両方、②、③は満たしているが、条件④は満たしていないもの	
4	条件①a、bの両方、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの *条件④を満たしているかどうかは不問とする。	
5	条件①a、②、③は満たしているが、条件①bは満たしていないもの *条件④を満たしているかどうかは不問とする。	

6	条件①b、②、③は満たしているが、条件①aは満たしていないもの *条件④を満たしているかどうかは不問とする。
7	条件③は満たしているが、条件①a、b、②は満たしていないもの *条件④を満たしているかどうかは不問とする。
99	上記以外の解答
0	無解答

■解答類型について

- 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するためには、引用する目的を明確にすることが重要である。その上で、原文に正確に引用することや、引用した部分と自分の考えとの関係などを明確にし、区別して書くことが大切である。花山さんは、涼しく過ごせる衣服の色の工夫について考えたことを、本や文章から引用しながら書いている。ここでは、涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書くために、【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書くことが求められる。その際に、抜き出した部分をかぎ（「 」）でくくり、自分の考えと区別して140字以内で書くことが求められる。
- 【解答類型1】は、【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書き、抜き出した部分をかぎ（「 」）でくくっている。また、涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを140字以内で書いている。
- 【解答類型2】は、【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書き、涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを140字以内で書いている。しかし、抜き出した部分をかぎ（「 」）でくくっていない。具体的な例としては、以下のようものが考えられる。

(例)

- ・ 生活と太陽という本には、白は熱や光を反しやすいため、熱くなりにくいことや、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすいことが書かれている。特に強い日差しが照りつけるえん天下では、黒い服より白い服を着る方が、すずしく過ごすことができそうだ。(120字)

- 【解答類型3】は、【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書き、抜き出した部分をかぎ（「 」）でくくっている。また、涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書いている。しかし、140字以内で書いていない。
- 【解答類型4】は、【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書き、抜き出した部分をかぎ（「 」）でくくっている。しかし、涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書いていない。具体的な例としては、以下のようものが考えられる。

(例)

- ・ 「夏のくらし方」には、「白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。」と書かれている。(78字)

- 【解答類型5】は、【集めた情報】の中から、本の題名を選んで、抜き出して書き、抜き出した部分をかぎ（「 」）でくくっている。また、涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書いている。しかし、本文の一部の内容を選んで、抜き出して書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ 「夏のくらし方」から、白い色やうすい青色の服を選ぶとよいと考えた。そうすると、長そでの服でも、すずしく着ることができそうだ。(62字)

- 【解答類型6】は、【集めた情報】の中から、本文の一部の内容を選んで、抜き出して書き、抜き出した部分をかぎ（「 」）でくくっている。また、涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書いている。しかし、本の題名を選んで、抜き出して書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ 「白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。」と書かれている本があった。白い色やうすい青色などの色を選ぶなどのくふうができそうだ。(101字)

- 【解答類型7】は、涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書いている。しかし、【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ すずしく過ごすために、白い色やうすい青色などの色を選ぶなどのくふうができそうだ。黒い色は、熱くなりやすい色なので、暑い夏に外で過ごすときには、さけた方がよい。(79字)

3. 出典等

熱中症環境保健マニュアル編集委員『熱中症環境保健マニュアル2022』（2022年3月 環境省環境保健部環境安全課）、宿谷昌則 監修 鈴木信恵 著 鈴木信恵・安田ねむ イラスト『図解こどもエコライフ 暑さとくらし』（2012年2月 ほるぷ出版）、高橋徳江・稲次潤子・田村照子・中山繁信・省エネルギーセンター 監修『夏を涼しく暮らす188のルール』（2011年6月 エクスナレッジ）、アспект編集部 編『涼しい暮らしのアイデア帖』（2011年7月 アспект）、稲葉裕 監修『熱中症対策マニュアル』（2011年6月 エクスナレッジ）、財団法人日本色彩研究所 監修 高岡昌江 構成・文『「色」の大研究② 色のはたらき』（2007年3月 岩崎書店）、色のはなし編集委員会 編・著『色のはなし II』（1996年4月 技報堂出版）、武川カオリ『色彩ルールブック』（2016年7月 パイ インターナショナル）、暮らしの図鑑編集部 編『暮らしの図鑑 色の楽しみ』（2020年11月 翔泳社）などを参考にした。

国語 3 文章を読み、考えたことをまとめる

3

林さんの学級では、自分の心に残った文章について考えたことをまとめることになりました。林さんは、「苦手」と「嫌い」という題名の文章を選んで読んでいます。次は、林さんが読んだ「文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章】※ 部①、②、③、アの内容は、あとの問いで取り上げられます。

(辻村深月 「苦手」と「嫌い」による。)

(辻村深月 「苦手」と「嫌い」による。)

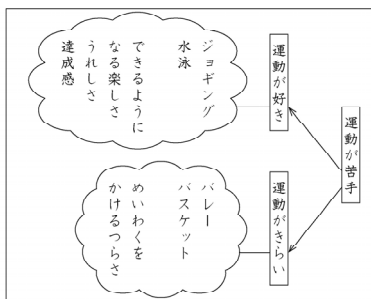
※ 「シチュエーション」………：じょうきょう。立場。場面。
(辻村深月) 「苦手」と「嫌い」による。

一 林さんは、「文章」を読んで、文章の書き方に特徴があることに気づきました。「文章」の特徴として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 疑問や調べたことを、問いと答えの段落に分けて書いている。
- 2 筆者の生涯を、生まれたときから時間的な順序で書いている。
- 3 登場人物同士の関係を、場面の移り変わりと一緒に付けて書いている。
- 4 筆者の経験や心の動きを、筆者なりのものの見方や感じ方で書いている。

二 林さんは、「文章」を読んで、筆者の考えを理解するために、部①、②、③について「林さんのメモ」のように整理しました。林さんはどのように整理しましたか。その説明として最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【林さんのメモ】



- 1 「苦手」を「好き」と「嫌い」の場合に矢印で分け、筆者の経験したことを結び付けて整理している。
- 2 「苦手」を「好き」と「嫌い」の場合に矢印で分け、自分の経験したことを結び付けて整理している。
- 3 「苦手」「好き」「嫌い」の順に矢印でつなげて、筆者の経験したことを結び付けて整理している。
- 4 「苦手」「好き」「嫌い」の順に矢印でつなげて、自分の経験したことを結び付けて整理している。

三 林さんは、「文章」を読んで、自分の考えをまとめるために、同じ文章を読んだ小川さんと話し合うことにしました。次の【話し合いの様子の一部】をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

<p>林さん 私は「苦手」と「嫌い」という題名の文章が心に残ったんだ。この文章の中の()——部分アを示しながら、この部分が特に考えさせられたんだ。</p>	<p>小川さん どんなことを考えたの。</p>
<p>林さん この部分のあとにいろいろな事例が出てくるでしょ。これらの事例を読んだら、自分にも同じようなことがあると、はっとしたんだ。例えば、自分に置きかえると</p>	<p>小川さん なるほど。文章と自分の経験結び付けて考えたんだね。</p>
<p>林さん そうなんだ。この文章を読んで、これまでの自分にはない考えだったけれど、なるほどと思ったよ。小川さんは、どんなことを考えたの。</p>	<p>小川さん ぼくは、この文章を読んで、筆者が書いていることと少しちがうことを考えたんだ。「苦手だからどうしても嫌い」ということもあるだろうし、「得意だけど嫌い」ということもあるんじゃないかなと思うんだけど、どう思う。</p>

(話し合いが続く)

(1) 【話し合いの様子の一部】の [] に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 持久走のタイムは速いけれど、苦しいのは嫌い
- 2 スピーチが苦手だし、好きになれそうにもない
- 3 上手ではないけれど、絵をかくのは楽しい
- 4 歌うことが大好きで、人前で歌うのも気持ちがいい

(2) 林さんは、小川さんと話し合ったことをもとに、改めて【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめることにしました。あなたなら、【文章】を読んで考えたことをどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【文章】を読んで、考えたことを書くこと。
- 【文章】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- あなたの経験を書くこと。

※左の枠は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

1. 出題の趣旨

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

文章を読んで自分の考えをまとめるためには、文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことに基づき、既存の知識などと結び付けて自分の考えを形成することが重要である。

本問では、自分の心に残った文章について、考えたことをまとめる場面を設定した。林さんは、筆者の思いや考えが直接的に描かれている文章を選び、心に残ったことを明確にしながら読んでいく。筆者の考えを理解するためにメモに整理したり、同じ文章を読んだ友達と話し合ったりしながら、文章を読んで考えたことを自分の経験と結び付けてまとめている。ここでは、目的に応じて、必要な情報を見付けることが求められる。その上で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることが求められる。また、文章の種類とその特徴について理解することや、情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことも求められる。

本問の設問構成等については、**□本問の設問構成と学習活動のポイント**に示す。

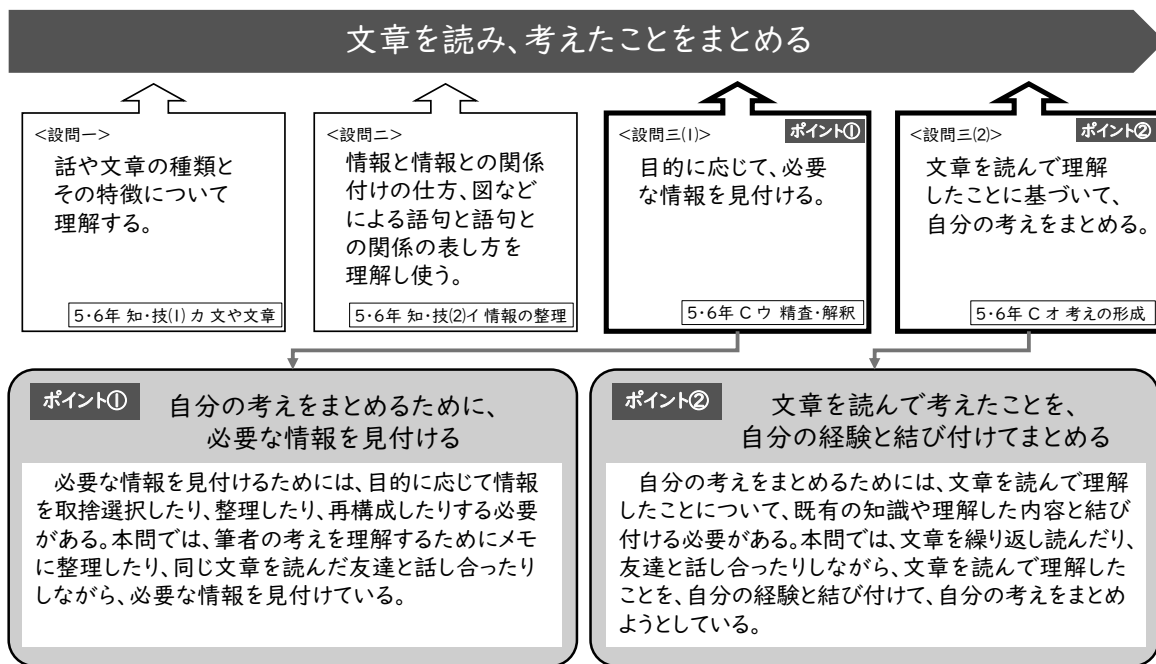
なお、過去の調査結果で見られた課題と関連する設問は、以下のとおりである。

- 設問二は、令和7年度【小学校】国語¹二（正答率63.2%）において、「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」に課題が見られたことを踏まえて出題した。
- 設問三(1)は、令和7年度【小学校】国語³三(1)（正答率41.0%）及び設問三(2)（正答率56.5%）において、「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。
- 設問三(2)は、令和5年度【小学校】国語²四（正答率56.4%）において、「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

□本問の設問構成と学習活動のポイント

本問では、「文章を読み、考えたことをまとめる」という言語活動の中で、4つの設問を設定し、それぞれの学習場面で求められる指導事項が定着しているかどうかをみている。

特に、設問三(1)の学習場面では、自分の考えをまとめるために、必要な情報を見付けることが大切である。また、設問三(2)の学習場面では、文章を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめることが大切である。



■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。

2. 解説

設問一

趣旨

話や文章の種類とその特徴について理解することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

カ 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
③	—	1 1 と解答しているもの	
		2 2 と解答しているもの	
		3 3 と解答しているもの	
		4 4 と解答しているもの	◎
		99 上記以外の解答	
		0 無解答	

■解答類型について

- 話や文章の種類とその特徴について理解するためには、日常生活で児童が触れることの多い話や文章について、目的や内容、表し方などに着目しながら、理解できるようにすることが重要である。林さんは、【文章】を読み、文章の書き方に特徴があることに気付いている。ここでは、【文章】が、筆者の経験や心の動きについて、筆者なりのものの見方や感じ方で書かれていると捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、【文章】が、疑問や調べたことについて、問いと答えの段落に分けて書かれていると捉えており、筆者の経験や心の動きを、筆者なりのものの見方や感じ方で書かれていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、【文章】が、筆者の生涯について、生まれたときから時間的な順序で書かれていると捉えており、筆者の経験や心の動きを、筆者なりのものの見方や感じ方で書かれていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、【文章】が、登場人物同士の関係について、場面の移り変わりと結び付けて書かれていると捉えており、筆者の経験や心の動きを、筆者なりのものの見方や感じ方で書かれていると捉えることができていないと考えられる。

- 【解答類型4】は、【文章】が、筆者の経験や心の動きについて、筆者なりのものの見方や感じ方で書かれていると捉えることができていると考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R5 1四	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	79.9%	pp.10-20	pp.19-35

設問二

趣旨

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 知識及び技能

(2) 情報の扱い方に関する事項

イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
③	二	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うためには、図示などにより語句と語句との関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができることを理解することが重要である。林さんは、筆者の考えを理解するために、——部①、②、③について【林さんのメモ】に整理している。ここでは、林さんが、「苦手」を「好き」と「きれい」の場合に矢印で分けて、筆者の経験したことと結び付けて整理していると捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、林さんが、「苦手」を「好き」と「きれい」の場合に矢印で分けて、筆者の経験したことと結び付けて整理していると捉えることができていると考えられる。

- 【解答類型2】は、林さんが、「苦手」を「好き」と「きれい」の場合に矢印で分けていると捉えることはできているが、筆者の経験したものと結び付けて整理していると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、林さんが、筆者の経験したものと結び付けて整理していると捉えることはできているが、「苦手」を「好き」と「きれい」の場合に矢印で分けていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、林さんが、「苦手」を「好き」と「きれい」の場合に矢印で分けて、筆者の経験したものと結び付けて整理していると捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R5 [2]三	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものと適切なものを選択する	62.2%	pp.21-30	pp.36-53
R6 [2]一(2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものと、適切なものを選択する	87.0%	pp.17-24	pp.34-49
R7 [1]二	【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものと適切なものを選択する	63.2%	pp.10-17	pp.23-39

設問三(1)

趣旨

目的に応じて、必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと
ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
[3]	三 (1)	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 目的に応じて、必要な情報を見付けるためには、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることが重要である。林さんは、——部アの「苦手でも好きなこと」について、その後述べられている事例や林さん自身の経験と結び付けて自分の考えを形成している。ここでは、——部アと結び付く情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりしながら、林さんが、【文章】の事例と「上手ではないけれど、絵をかくのは楽しい」という経験を結び付けていると考えることが求められる。
- 【解答類型1】は、林さんが、【文章】の事例と「持久走のタイムは速いけれど、苦しいのは嫌い」という経験を結び付けていると考えており、【文章】の事例と「上手ではないけれど、絵をかくのは楽しい」という経験を結び付けていると考えることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、林さんが、【文章】の事例と「スピーチが苦手だし、好きになれそうにもない」という経験を結び付けていると考えており、【文章】の事例と「上手ではないけれど、絵をかくのは楽しい」という経験を結び付けていると考えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、林さんが、【文章】の事例と「上手ではないけれど、絵をかくのは楽しい」という経験を結び付けていると考えることができていると考えられる。
- 【解答類型4】は、林さんが、【文章】の事例と「歌うことが大好きで、人前で歌うのも気持ちがいい」という経験を結び付けていると考えており、【文章】の事例と「上手ではないけれど、絵をかくのは楽しい」という経験を結び付けていると考えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R3 ² 三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	34.6%	pp.18-28	pp.30-40
R5 ² 二	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	67.6%	pp.21-30	pp.36-53
R7 ³ 三 (1)	【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する	41.0%	pp.28-38	pp.59-77
R7 ³ 三 (2)	【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く	56.5%	pp.28-38	pp.59-77

設問三(2)

趣旨

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと
 オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	三 (2)	解 答 類 型	正答	
③	三 (2)	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【文章】 を読んで考えたことを書いている。 ② 【文章】 から言葉や文を取り上げて書いている。 ③ 自分の経験を書いている。		
		(正答例) ・ わたしは「『苦手でも好きなこと』がある」という筆者の言葉に共感しました。わたしも走ることが苦手で運動会がいやだなと思っていたけれど、休み時間におにごっこをするのは大好きです。これからは何でもきらいだと思わずに、どうすれば好きになれるかを考えたいです。 ・ 筆者は苦手でも好きなことがあると述べていましたが、わたしは苦手だしきらいなこともあると思いました。ダンスみたいに音楽に合わせておどることは苦手です。どうしても好きになれないからです。 ・ わたしにとって「苦手」はさけた方がよいものだったけれど、すべてを苦手できらいと思ってしまう前に立ち止まって考えるのは大事なと感じました。みんなの前で歌うのは苦手だけれど、音楽をきくのは大好きだと気づきました。これからは、何事も一度立ち止まって考えてみることを大切にしたいです。 ・ ぼくは、絶対に自分の持ちようがあるはずという筆者の考えになっとくしました。算数は苦手だけれど、よく考えたらパズルを解くのは得意です。自分についてきちんと考え、知ることは大切だと思いました。		
		1 条件①、②、③を満たしているもの		◎
		2 条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの		
		3 条件②、③は満たしているが、条件①は満たしていないもの		
		4 条件②は満たしているが、条件①、③は満たしていないもの		
		99 上記以外の解答		
0 無解答				

■解答類型について

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめるためには、既存の知識や理解した内容と結び付けて自分の考えを形成することが重要である。林さんは、小川さんと話し合ったことを基に、改めて【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめようとしている。ここでは、【話し合いの様子の一部】を受けて、【文章】を読んで考えたことを、【文章】から言葉や文を取り上げ、自分の経験と結び付けてまとめることが求められる。
- 【解答類型1】は、【文章】を読んで考えたことを、【文章】から言葉や文を取り上げ、自分の経験と結び付けて書いている。
- 【解答類型2】は、【文章】を読んで考えたことを、【文章】から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、自分の経験と結び付けて書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ わたしは、この文章を読んで「苦手でも好きなこと」があるという筆者の考えになるほどと思いました。

- 【解答類型3】は、【文章】から言葉や文を取り上げ、自分の経験と結び付けて書いている。しかし、【文章】を読んで考えたことを書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ ぼくは、シュート練習をたくさんしたことがあります。

- 【解答類型4】は、【文章】から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、【文章】を読んで考えたことを書いておらず、自分の経験と結び付けて書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ 筆者は昔からスポーツ全般が苦手だと書いている。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R5 2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く	56.4%	pp.21-30	pp.36-53

3. 出典等

【文章】は、辻村深月『あなたの言葉を』（2024年4月 毎日新聞出版）収録『「苦手」と「嫌い」』による。問題作成の都合上、一部表記を改めたところがある。

IV 解答用紙（正答（例））

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

■ 全国学力・学習状況調査 小学校第6学年解答用紙 ③国語 **オキテ**

※解答の順序は問わない。

1	—	3	二	(1)	2	5	(2)	3	(3)	4
---	---	---	---	-----	---	---	-----	---	-----	---

2	—	3	二	1	ア	短	(い)	イ	不	思	議
---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---

※◆の印から横書きで書きましよう。どちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

◆「生活と太陽」という本には、

「白は熱や光を反しやする色の

ため、熱くなりにくい。一方、

黒は熱や光をきゆうしゆうし、

熱くなりやすい。」と書かれてい

る。特に強い日差しが照りつけ

る。えん天下では、黒い服より白

い服を着る方が、すずしく過ご

すところができそうだ。

四例

140字

3の解答らんは、裏面にあります。

※解答は、わくからはみ出さないように書いてください。

※「組」、「出席番号」は、下の例のように記入し、マークらんをぬりつぶしてください。

例：1組の場合

組	1
---	---

児童記入らん	
組	出席番号
①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤
⑥	⑥
⑦	⑦
⑧	⑧
⑨	⑨
⑩	⑩

答案番号



※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

■ 全国学力・学習状況調査 小学校第6学年 解答题用紙 ③ 国語 **ウラ**

3

一	4	二	1	三	(1)	3
三	(2) 例	<p>わたしは「『苦手でも好きなこと』がある」という筆者の言葉に共感しました。わたしも走ることが苦手な運動会がいやだなど思っていたけれど、休み時間におにごっこをするのは大好きです。これからは何でもきらいだと思わずに、どうすれば好きになれるかを考えたいです。</p>				

※解答はわくわくからはみ出して書かないでください。

【質問】※解答時間終了後、回答してください。

(1)	①	②	③	(2)	①	②	③	④
-----	---	---	---	-----	---	---	---	---

V 点字問題（抜粋）

点字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、点字を使用して学習する児童生徒の情報取得の特性や点字による表現方法等を考慮し、児童生徒が調査問題で問われている内容及び解答に必要な情報を的確に把握し、問題の趣旨に沿った解答に臨むことができるように、例えば、次のような配慮を行っている。

(1) 問題文の記述及びレイアウト等について

必要に応じて、文章や図表等の記述を変更したり、提示する順序を入れ替えたり、ページ配置を変更したりするなどの調整を行う。

(2) 図やグラフの提示の仕方について

提示する情報の精選を行った上で、表に置換したり、必要かつ可能なものは点図（点を用いて示した図）で示したりするなど、提示方法の変更・調整を行う。

(3) 出題形式の変更及び代替問題について





児童生徒の学習内容や生活経験等を考慮し、通常問題の内容をそのまま点字化して出題することが適当ではない問題については、出題の趣旨等を踏まえた上で、出題形式の変更や代替問題の作成を行う。

なお、上記のような配慮に伴い、解答類型の調整等を行った問題については、pp. 50-51 に問題及び解答類型（点字問題用）を示している。

〈点字問題における具体的な配慮例〉

【通常問題】 1

【構成メモ】

時間	えい像のイメージ	伝えたいこと
はじめ 10秒		○話題の提示 ・草花遊び
中① 1分		○遊び方 ○おもしろさ 音を鳴らして遊ぶ ・くき笛 (たんぼぼ) 友達といっしょに 鳴らして、音が重なる のが楽しい。
中② 1分		対決して遊ぶ ・草ずもう (おおばこ) 友達と対決して、 勝ったり負けたり するのがおもしろい。
終わり 20秒		○まとめ ・友達といっしょに草花遊びを楽しんで ほしい。

1 草花遊びの遊び方とおもしろさを取り上げて、遊ぶときの注意点を説明しようとしている。

2 友達と遊ぶときと一人で遊ぶときのおもしろさを比べて、ちがいを明らかにして説明しようとしている。

3 友達と遊ぶときの遊び方を複数取り上げて、おもしろさと合わせて説明しようとしている。


4 草花遊びと他の遊びを比べて、それぞれのおもしろさを説明しようとしている。

小国-2

一 岡野さんたちのグループは、「岡野さんたちの考え」をもとに、動画の「構成メモ」をくふうして作りしました。そのくふうとして最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【岡野さんたちの考え】

草花遊びは一人でできるものもあるけれど、みんなで遊べるものもいくつかあったほうが、休み時間をより楽しく過ごせると思うな。



岡野さん 原田さん 水谷さん

小国-1

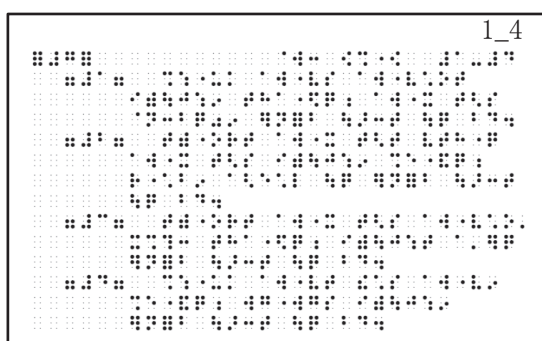
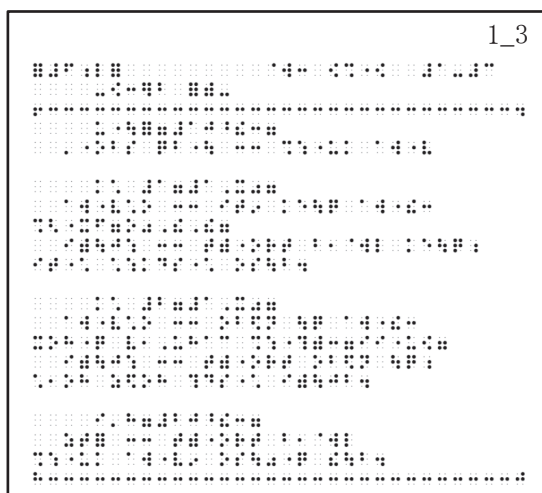
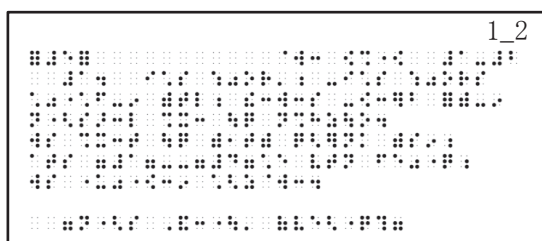
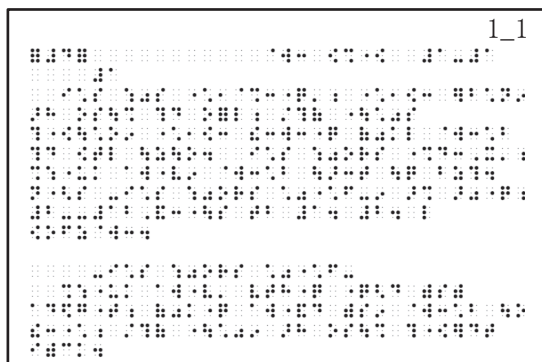
1 岡野さんの学級では、学校生活をより楽しくするために、休み時間の過ごし方を動画にして、紹介しようとしている。しかし、点字で学習する児童は、このような視覚情報を活用した学習活動を行いにくい。そのため、場面設定を動画ではなく学校放送という形に変更した。【構成メモ】においても、イラストや表を用いて整理するのではなく、児童の学習経験と生活経験を踏まえて、「構成メモ」に箇条書きで情報を整理している場面に変更した。

【点字問題】 1

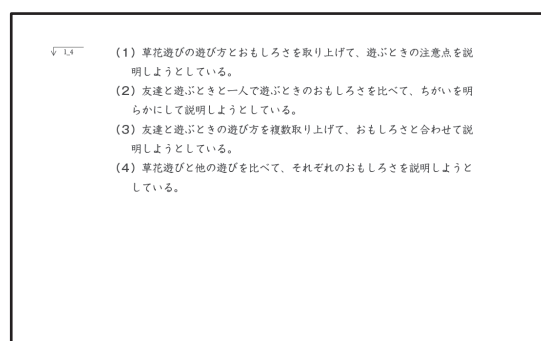
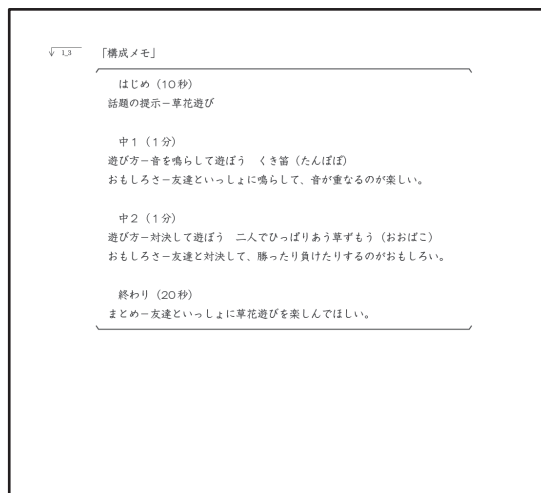
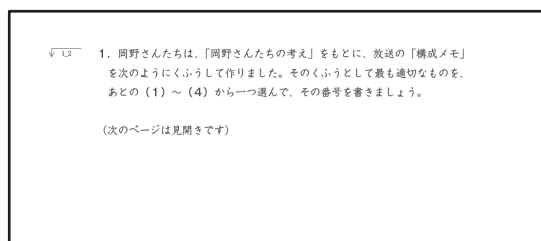
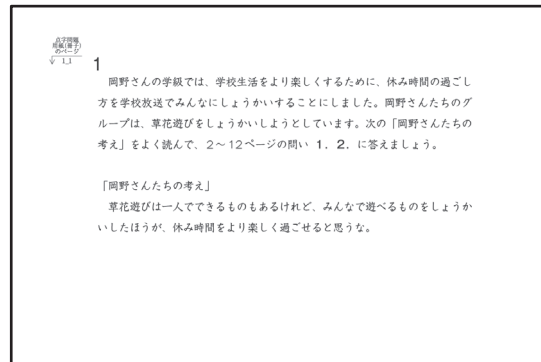
本問では、主に次のような配慮を行った。

- 通常問題では、岡野さんたちは学校生活をより楽しくするために、休み時間の過ごし方を動画にして、紹介しようとしている。しかし、点字で学習する児童は、このような視覚情報を活用した学習活動を行いにくい。そのため、場面設定を動画ではなく学校放送という形に変更した。【構成メモ】においても、イラストや表を用いて整理するのではなく、児童の学習経験と生活経験を踏まえて、「構成メモ」に箇条書きで情報を整理している場面に変更した。
- 通常問題の【動画の一部】は、〈映像〉と〈音声〉で構成されている。しかし、学校放送の内容にするために、「録音」という構成に変更した。また、茎笛の音の表現については、会話部分との違いと明確にするために点字符号の（ ）や「 」で工夫した。

<点字問題（墨点字版）>



<点字問題（活字版）>



1_5

√1.5 2. 岡野さんたちは、「構成メモ」をもとに、「中1」に次の「録音」を入れることにしました。これをよく読んで、8～12ページの「1」から「3」の問いに答えましょう。

1_6

√1.6 「録音」

岡野 音を鳴らして遊ぼう。
 みなさん、この音を聞いてください。
 (くき笛の音「ビー」)
 これは何の音だと思いますか。
 三谷 これはたんぼぼで作ったくき笛の音です。
 岡野 どうしたらこんな音が出るんですか。
 三谷 a. くき笛を作るには、まずたんぼぼの花の部分を取りのぞいてくきの部分だけにします。そして、片方のくきの先をつぶすと完成です。
 つぶした方をくちびるでくわえ、b. 風船をふくらませるように息をふきこむと、(くき笛の音「ビー」)
 このように音を出すことができます。
 くきの長さが変わると、音の高さも変わります。いっしょにふいてみましょう。(くき笛の音「ビー ポー」)

1_7

√1.7 岡野 友達がいっしょに音を鳴らすと音が重なって、とても楽しいですね。

(中略)

1_12

√1.12 「3」岡野さんたちは、「録音」の下線部b. をくふうしました。そのくふうの効果として最も適切なものを、次の(1)～(4)から一つ選んで、その番号を書きましょう。

b. 風船をふくらませるように 6ページ下から6行目

(1) 息をふきこむときのきんちよう感を伝える効果
 (2) 息をふきこむときの音を伝える効果
 (3) 息をふきこむときのくきの持ち方を伝える効果
 (4) 息をふきこむときの息の強さを伝える効果

<点字問題において解答類型の変更、調整等を行った問題>

【点字問題】 2 3.

<p>√ 2.7 3. 花山さんは、「文章の一部」を読み返し、点字のまちがいに気づきました。下線部(ア) (イ)を正しく書き直しましょう。</p> <p>(ア) みちかいほーが 2ページ8行目</p> <p>(イ) おーっている 2ページ下から1行目</p>

問題番号		解 答 類 型		正答
2	3. (ア)	1	みじかい ほーが と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	3. (イ)	1	おおって いる と解答しているもの	◎
		2	— (該当無し)	
		3	— (該当無し)	
		4	— (該当無し)	
		5	— (該当無し)	
		6	— (該当無し)	
		7	— (該当無し)	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

【点字問題】 2 4.

√ 2.8 4. 花山さんは、10ページの「集めた情報」をもとに、「すずしく過ごせる布は何か」について考えたことを「文章の続き」に書いています。あなたが花山さんなら、次の「文章の続き」の に入る内容を、どのように書きますか。11ページの四つの条件に合わせて書きましょう。

問題番号		解答類型	正答	
2	4.	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 「集めた情報」の中から、以下のことを抜き出して書いている。 a 本の題名 b 本文の一部の内容 ② 抜き出した部分をかぎ(「 」)でかこっている。 ③ 涼しく過ごせる布について考えたことを書いている。 ④ 220マス以内にまとめる。		
		1	条件①a、bの両方、②、③、④を満たしているもの	◎
		2	条件①a、bの両方、③、④を満たしているが、条件②は満たしていないもの	○
		3	条件①a、bの両方、②、③は満たしているが、条件④は満たしていないもの	
		4	条件①a、bの両方、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの *条件④を満たしているかどうかは不問とする。	
		5	条件①a、②、③は満たしているが、条件①bは満たしていないもの *条件④を満たしているかどうかは不問とする。	
		6	条件①b、②、③は満たしているが、条件①aは満たしていないもの *条件④を満たしているかどうかは不問とする。	
		7	条件③は満たしているが、条件①a、b、②は満たしていないもの *条件④を満たしているかどうかは不問とする。	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

VI 擴大文字問題（拔粹）

拡大文字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、弱視児童生徒の見え方に伴う負担等を軽減するため、通常問題で使用しているA4判の用紙をB4判の大きさに拡大するとともに、以下のような配慮を行っている。


- (1) 原則として文字の大きさを22ポイントとし、UDデジタル教科書体とする。
- (2) 十分な字間及び行間等に設定する。
- (3) 必要に応じて、拡大率やレイアウト等を変更する。

<拡大文字問題における具体的な配慮例>

【通常問題】 1


【岡野さんたちの考え】


草花遊びは一人でできるものもあるけれど、みんなで遊べるものをおもしろいと思ったほうが、休み時間をより楽しく過ごせると思うな。




1

岡野さんの学級では、学校生活をより楽しくするために、休み時間の過ごし方を動画にして学校のみんなにしようかと思いました。岡野さんたちのグループは、草花遊びをしようかしようかしています。次の【岡野さんたちの考え】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。


 岡野さん


 原田さん


 水谷さん

小図-1

1では、以下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

- 1) 登場人物と【岡野さんたちの考え】の配置を替え、情報の捉えやすさを考慮して、【岡野さんたちの考え】の吹き出しを削除した。
- 2) 【岡野さんたちの考え】の内容を捉えやすくするために、情景のイラストと考えの位置を替え、横書きから縦書きに変更した。

【岡野さんたちの考え】

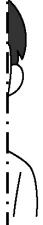
水谷さん



原田さん



岡野さん







草花遊びは一人でできるもの

みんなで遊べるものをするようか

休み時間をより楽しく過ごさせる



【構成メモ】

時間	えい像のイメージ	伝えたいこと	
はじめ 10秒		○話題の提示 ・草花遊び	
中① 1分		○遊び方 音を鳴らして遊ぼう ・くき笛 (たんぼぼ)	○おもしろさ 友達といっしょに 鳴らして、音が重なる のが楽しい。
中② 1分		対決して遊ぼう ・草ずもう (おおばこ)	友達と対決して、 勝ったり負けたり するのがおもしろい。
終わり 20秒		○まとめ ・友達といっしょに草花遊びを楽しんで ほしい。	

一 岡野さんたちのグループは、「岡野さんたちの考え」をもとに、動画の【構成メモ】をくふうして作りました。そのくふうとして最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 草花遊びの遊び方とおもしろさを取り上げて、遊ぶときの注意点を説明しようとしている。
- 2 友達と遊ぶときと一人で遊ぶときのおもしろさを比べて、ちがいを明らかにして説明しようとしている。
- 3 友達と遊ぶときの遊び方を複数取り上げて、おもしろさと合わせて説明しようとしている。
- 4 草花遊びと他の遊びを比べて、それぞれのおもしろさを説明しようとしている。



小国-2

1-では、以下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。



- 1) 内容を捉えやすくするために、【構成メモ】と選択肢を横書きから縦書きに変更し、分割して掲載した。
- 2) 【構成メモ】について、視線がスムーズに移動できるように伝えたいことの内容をまとめた。

【拡大文字問題】

1-

20秒 終わり	1分 中②	時間
		えい像の イメージ
○まとめ ・友達といっしょに草花遊びを楽しんでほしい。	○遊び方 対決して遊ぼう ・草ずもう（おおばこ） ○おもしろさ 友達と対決して、勝ったり負けたりするのがおもしろい。	伝えたいこと

小国-5

1分 中①	10秒 はじめ	時間	【構成メモ】
		えい像の イメージ	
○遊び方 音を鳴らして遊ぼう ・くき笛（たんばぼ） ○おもしろさ 友達といっしょに鳴らして、音が重なるのが楽しい。	○話題の提示 ・草花遊び	伝えたいこと	

小国-4

4 草花遊びと他の遊びを比べて、それぞれのおもしろさを説明しようとしている。

小国-7

1 草花遊びの遊び方とおもしろさを取り上げて、遊ぶときの注意点を説明しようとしている。
2 友達と遊ぶときと一人で遊ぶときのおもしろさを比べて、ちがいを明らかにして説明しようとしている。
3 友達と遊ぶときの遊び方を複数取り上げて、おもしろさと合わせて説明しようとしている。

小国-6